



医療評価ガイド取材班

全国

名医118人

最新治療&  
予防

# 心臓病

疾患別に  
実力医師を選び抜く!

この1冊で気になる症状・検査・  
標準治療・治療トピックがわかる

角川SSコミュニケーションズ

### III 九州ブロック III —— 実力医師12人 ..... 161

#### 福岡県

- 小倉記念病院循環器科／延吉正清院長 横井宏佳診療部長 ..... 162
- 小倉記念病院心臓血管外科／羽生道弥主任部長 ..... 163
- 福岡大学病院／田代忠主任教授・診療部長 ..... 164
- 九州厚生年金病院心臓血管外科／井本浩主任部長 ..... 165
- 福岡山王病院ハートリズムセンター／熊谷浩一郎センター長 ..... 166
- 久留米大学病院外科／田中厚寿助教 ..... 167
- 福岡市立こども病院感染症センター心臓血管外科／角秀秋外科系診療総括担当主幹 ..... 168

#### 長崎県

- ながさきハートクリニック／坂井秀章理事長・院長 ..... 169

#### 熊本県

- 熊本中央病院循環器科／大嶋秀一副院長 ..... 170
- 済生会熊本病院心臓血管センター循環器内科／坂本知浩副部長 ..... 171

#### 宮崎県

- 宮崎市郡医師会病院循環器科／柴田剛徳科長 ..... 172
- 県立宮崎病院心臓血管外科／金城玉洋部長 ..... 173

### 心臓病——定評のある専門医 ..... 175

\*本書で紹介した専門医などの所属名、役職は2009年3～4月現在のものです。

\*異動している医師がいた場合は、もとの病院に問い合わせたり、インターネットなどで異動先を確認してください。

## ながさきハートクリニック



**坂井 秀章 理事長・院長**

長崎県長崎市恵美須町4-1  
TEL: 095-818-4199  
最寄りの駅/JR長崎駅、  
徒歩5分。または桜町電停  
すぐ

坂井秀章理事長・院長

**Staff**

与那城傑医師・長野政幸医師・山城民治医師（循環器科）・多田誠一医師（心臓血管外科）

**外来診療日**

月～金曜 (8:30～12:00 18:00～20:00)  
土曜 (8:30～12:00)

**Profile**

さかい・ひであき。1958年長崎県生まれ。長崎大学医学部卒。同大学大学院修了後、長崎市立市民病院、長崎大学病院、佐世保市立総合病院、社会保険小倉記念病院循環器科を経て、北九州市立八幡病院救命救急センター循環器科部長、ながさき循環器病院院長など務める。2006年開院し、07年現在地へ移転。

**実績・成績**

2008年の年間PIC症例数は521例。



**治療**

### 24時間体制で、すばやく確かな低侵襲の治療を実践

長崎市唯一の循環器専門の有床クリニック。狭心症や心筋梗塞のカテーテル治療であるPCI（冠動脈インターベーション）で、2008年の年間症例数は長崎県で最も多い521例を施行している。市内中心部に位置するので、仕事を持ち、短期の検査や治療を希望する患者が多い。そのため、夜間外来や低侵襲の冠動脈治療を施行し、治療後に短期で仕事復帰できる体制を整えている。「接遇の一番は患者を待たせないこと」をモットーに、検査や治療は確実かつスピーディーに行うことを中心とする。

「低侵襲」をキーワードに治療を行う坂井理事長。通常、カテーテルによる検査や治療は、足の付け根からカテーテルを入れる場合が多いが、10年以上前より、手首の動脈から入れる方法を導入。この方法は身体への負担が少なく、安静時間が短くてすみ、すぐに歩くことができる。足から入れるより技術的に難しいが、現在では心臓カテーテル検査やPCIの95%以上を、手首の動脈から施行している。また、腎臓などへの影響を考え、造影剤の使用量や放射線被爆量を少なくする工夫も行っている。

心臓カテーテル検査は15分程度で終わり、日帰りか1泊2日ですむ。PCIでは日本で2004年に認

可された薬剤溶出ステント（DES）を使用することで、再狭窄率も5%まで減少している。入院期間も2泊3日と短い。治療法は「患者が自分の親ならどのような治療をするか」と考え、患者と相談しながら最適な方法を選択している。

循環器医師、技師、看護師を24時間、365日院内に待機させる体制をとっている同クリニック。急性心筋梗塞や狭心症、急性心不全など緊急を要する病気に対して、診療時間以外でもすぐに対応している。患者到着後、すぐに心電図や心エコーを施行でき、必要なら冠動脈治療も20分で開始し、冠動脈の再開通まで40分で可能だ。

心臓一般の検査以外にも、狭心症が疑われた場合には、64列マルチスライスCTで冠動脈造影検査（心臓CT）を、来院した日に実施することができる。遠くから来た患者には、その日のうちに結果を説明することも可能だ。心臓CTを使って狭心症のスクリーニング検査、心臓ドック、他科手術の手術前心臓検査など、年間700～800例を実施している。

同理事長は低侵襲の冠動脈治療を目指す、心臓カテーテル第二・第三世代の循環器医師約600人が構成された、全国ネットグループ「TRA-net」のリーダーである。